

科目名	福祉基礎理論		必修・選択	選択 (保資必修)	授業形態	講義	評価の方法	試験	80%
	担当者	藤原 法生	単位数	2	学年	1 年 後 期		レポート	—
授業のねらいと概要							社会福祉の基本的理念や対象・制度について学ぶ。 現代の福祉問題・対象者とその支援について、普段の生活に関連付けながら講義を行う。		
到達目標	社会福祉の基本的理念を理解することができる。 各種制度や社会資源に関する知識と活用方法を理解することができる。 普段の生活と社会福祉の関連性についての関心が高まる。								
準備学習 (予習・復習)	授業毎にノートとテキストを再読すること。 次回の範囲についてテキストを一読して授業に臨むこと。 新聞やニュースで関連する情報を得ること。								
回	授業計画	授業内容							
1	オリエンテーション	福祉とは何か、社会福祉の理念、社会福祉と児童家庭福祉							
2	現代社会の理解	少子高齢社会、家族と地域の変化							
3	社会福祉の歴史	日本と海外の社会福祉の歴史							
4	社会福祉の行政と財政	国と地方の行財政							
5	社会福祉の制度と実施体制(1)	社会保障制度(医療、年金)							
6	社会福祉の制度と実施体制(2)	公的扶助(公的扶助と社会保険、生活保護の目的・原理・原則)							
7	社会福祉の制度と実施体制(3)	公的扶助(生活保護の種類と内容、実施体制、動向)							
8	社会福祉の制度と実施体制(4)	高齢者福祉(高齢者の理解、高齢者福祉の理念、法体系)							
9	社会福祉の制度と実施体制(5)	高齢者福祉(介護保険制度)							
10	社会福祉の制度と実施体制(6)	障がい者福祉(障がいの理解、障がい者福祉の理念)							
11	社会福祉の制度と実施体制(7)	障がい者福祉(障がい者福祉対策、法体系)							
12	社会福祉の制度と実施体制(8)	福祉のマンパワー、相談援助							
13	社会福祉の制度と実施体制(9)	利用者保護(情報提供、第三者評価、権利擁護、苦情解決)							
14	地域の福祉(1)	地域福祉(地域福祉の理念、コミュニティ)							
15	地域の福祉(2)	地域福祉(住民参加、地域福祉の展望)							
テキスト	直島正樹・原田旬哉編著：『社会福祉』(萌文書林)								
参考文献	なし								